

## 第 2 回 ICHARM 運営理事会の開催

ICHARM は、日本政府とユネスコの協定に基づき、ユネスコの賛助する機関（カテゴリー2 センター）として、平成 18 年 3 月 6 日に土木研究所の一部門として設立されました。設立からちょうど 10 年が経過し、これまでの活動に対しては国内外から高い評価を受けています。25 年 7 月にはその協定が更新され、新協定では 2 年に 1 回、「ICHARM Governing Board (ICHARM 運営理事会)」会合を開催することが求められていることから、28 年 3 月 3 日に第 2 回会合を国土交通省（東京都千代田区）にて開催しました。

運営理事会会合は、土木研究所理事長を含む 7 名で開催され、その手続規則「Rules of Procedure」の確認、26 年 4 月から 2 年間の活動報告「ICHARM Activity Report」の審査、ICHARM の長期・中期プログラム「ICHARM Long-term and Mid-term Programmes」の審査・採択及び 28 年度と 29 年度の具体的な事業計画「ICHARM Work Plan」の審査・採択が行われました。特に、長期・中期プログラムにおいては、27 年 3 月の仙台防災枠組、同 9 月の国連持続可能な開発目標、および同 12 月の気候変動パリ協定等を踏まえた内容に修正しています。

審査の結果、全ての審査事項について了承されました。活動報告においては、統合洪水解析モデル (IFAS) や降雨流出氾濫 (RRI) モデルの適用、アジア太平洋地域におけるリーダーシップ、ICHARM の修士課程や博士課程等の出身者によるネットワークなどの活動が自己評価シートでも適切に評価され、センターのすべての目的と機能が十分に達成されていることが委員に認識されました。また、ICHARM 長期・中期プログラムにおいては、各国・地域の状況を適確に把握し、それに応じたきめ細やかな防災技術の開発と具体的な施策への適用性が強調されるとともに、ICHARM が事務局を務める国際洪水イニシアチブ (IFI) などを通じて他のセンターの中で強いリーダーシップを果たすことへの期待が表明されました。

採択された ICHARM 中期プログラムにおける主な変更点は次ページのとおりです。

ICHARM はこれらのプログラムや事業計画に沿いながら、今後も世界の水災害被害軽減のため、国内外の様々な機関と協働しながら、研究、能力育成及び情報ネットワーク構築を三本柱とした活動を推進していきます。

### Summary of the 2<sup>nd</sup> ICHARM Governing Board Meeting

Date: 3<sup>rd</sup> March, 2016 (Thu) 10:00~12:00

Venue: International Congress Room, MLIT

Agenda:

- Confirmation of Rules and procedures for ICHARM Governing Board
- Examination of ICHARM Activity Report
- Examination and adoption of Long-term and Mid-term Programmes
- Examination and adoption of Work Plan

Participants (*Alphabetically order of the organization*):

Shoichi Ando, Director, Disaster Management Policy Program, Professor,

on behalf of Dr. Takashi Shiraishi, President, National Graduate Institute for Policy Studies (GRIPS)

David Korenfeld Federman, Chairperson, International Hydrological Programme (IHP) Intergovernmental Council

Kunihiro Yamauchi, Director General of Global Environment Department,

on behalf of Mr. Shinichi Kitaoka, President, Japan International Cooperation Agency (JICA)

Koji Ikeuchi, Vice Minister for Engineering Affairs, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT)

Taketo Uomoto (Chairperson), President, Public Works Research Institute (PWRI)

Shahbaz Khan, Director, UNESCO Regional Science Bureau for Asia and the Pacific,

on behalf of Ms. Irina Bokova, Director-General, United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

Yuki Matsuoka, Head of the UNISDR Japan Liaison Office,

on behalf of Mr. Robert Glasser, Special Representative of the United Nations Secretary-General for Disaster Risk Reduction (UNISDR)



### ICHARM 中期プログラムの主な変更点

同プログラムは、(i)革新的な研究、(ii)効果的な能力育成、(iii)効率的な情報ネットワークの3本柱で構成されており、今回は、(i)革新的な研究について以下のように3テーマから5テーマに見直しを行いました。

旧テーマ	新テーマ
(1) 水関連ハザードに係わる観測・予測・分析	(1) 水災害データの収集、保存、共有、統計化
(2) 水関連災害に対するエクスポージャーと脆弱性を評価、分析、モニタリング	(2) 水災害リスクのアセスメント
(3) 人類及び環境のレジリエンスを向上させる実務的な政策メニュー	(3) 水災害リスクの変化のモニタリングと予測
	(4) 水災害リスク軽減の政策事例の提示、評価と適用支援
	(5) 防災・現在の実践力の向上支援

※ICHARM 長期・中期プログラム全文については、追って ICHARM ホームページに掲載します。